



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月27日

上場会社名 株式会社ドリームインキュベータ 上場取引所 東
 コード番号 4310 URL http://www.dreamincubator.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役会長 (氏名)堀 紘一
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理グループ長 (氏名)小山 智士 (TEL)03(5532)3200
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	10,814	11.8	688	91.2	721	88.2	253	89.8
28年3月期第3四半期	9,672	16.1	360	△74.4	383	△73.4	133	△87.6

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 492百万円(-%) 28年3月期第3四半期 △84百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	25.64	25.07
28年3月期第3四半期	13.66	13.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	17,145	11,198	58.5
28年3月期	16,134	11,245	63.2

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 10,029百万円 28年3月期 10,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	0.00	0.00	0.00	12.00	12.00
29年3月期	0.00	0.00	0.00		
29年3月期(予想)				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期の期末配当予想につきましては、未定としております。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社グループの営業投資セグメントについては売上高の多くが株式市場における株式売却によってもたらされることから、株式市況やIPO動向に伴って振幅します。従いまして、現時点において業績予想を合理的に行うことが困難であるため、開示を控えさせていただきます。

なお、現時点で将来の業績を予想するのに有用と思われる情報を3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報

(3) 連結業績予想に関する定性的情報」に記載しておりますので、ご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年3月期3Q	10,240,300株	28年3月期	10,180,600株
29年3月期3Q	553,613株	28年3月期	319,183株
29年3月期3Q	9,874,076株	28年3月期3Q	9,764,140株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」を導入しております。BIP信託口及びESOP信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
(4) 生産、受注及び販売の実績	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
(4) 追加情報	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社及び当社グループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は10,814百万円（前年同期比11.8%増）、経常利益は721百万円（前年同期比88.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は253百万円（前年同期比89.8%増）と増収増益となりました。

前連結会計年度より、事業区分の名称を「コンサルティング事業」と「インキュベーション事業」に変更しております。後者は営業投資セグメント、保険セグメント及びその他セグメントにより構成されております。なお、事業名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

また、前連結会計年度においてアセットリクイデーションセグメントを構成する株式会社リバリューは売却し、知的財産権セグメントを構成する日本知財ファンド1号投資事業有限責任組合は清算が終了したため、第1四半期連結会計期間より当該セグメントを廃止しております。詳細は、添付資料12ページ「(セグメント情報等)【セグメント情報】Ⅰ及びⅡ」をご参照ください。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

(コンサルティング事業)

コンサルティング事業では、大企業や政府向けの戦略コンサルティングに加え、構想の実現に向けた仲間・ルール作り、社内外ドライブまでハンズオンで支援するプロデュース支援、M&Aファイナンシャル・アドバイザー、経営幹部育成支援を提供しております。

コンサルティング事業（セグメント）においては、前連結会計年度に引き続き、既存顧客である大企業からの継続的な受注に加え、長期的支援を実施する実行支援型プロジェクトの増加、海外企業からの新規受注により、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,433百万円（前年同四半期は1,898百万円）、セグメント利益（営業利益）は1,414百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）992百万円）となり、過去最高を更新いたしました。

(インキュベーション事業)

インキュベーション事業は、営業投資セグメント、保険セグメント、その他の各セグメントにより構成されております。

営業投資セグメントにおいては、新規投資活動として、シリコンバレーを中心とした提携先ベンチャーキャピタルとの共同投資育成案件による投資を実行しております。また、既存投資先ベンチャーに関しては、当社が深く支援することで成長加速が見込まれるステージにおいて資金と人材を投入し、それ以降は売却を進めております。当第3四半期連結累計期間においては、新たに1社の投資先がIPOし、合わせて、上場株式に対する投資及び売却を実施しております。一方、投資先1社の価値下落に伴い、営業投資有価証券の減損及び投資損失引当金繰入額を計上しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は956百万円（前年同期は688百万円）、セグメント損失（営業損失）は190百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）110百万円）となりました。

保険セグメントとは、連結子会社であるアイペット損害保険株式会社が運営するペット向け医療保険を指します。当第3四半期連結累計期間において、ペット向け医療保険の加入件数は順調に増加し、売上は順調に拡大しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,366百万円（前年同四半期は5,905百万円）、セグメント利益（営業利益）は354百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）108百万円）となりました。

その他セグメントには、アジア各国におけるマーケティングセグメント及びコンテンツマネジメントセグメントが含まれており、当第3四半期連結累計期間の売上高は58百万円（前年同期は20百万円）、セグメント損失（営業損失）は36百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）89百万円）となりました。

以上の当社及び当社グループの売上をまとめると以下のとおりです。

区分	第16期 第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)		第17期 第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
コンサルティング事業	1,898	19.6	2,433	22.5
インキュベーション事業	7,774	80.4	8,381	77.5
(内訳)				
営業投資セグメント	688	7.1	956	8.8
保険セグメント	5,905	61.0	7,366	68.1
アセットリクイデーションセグメント	408	4.2	-	-
知的財産権セグメント	751	7.8	-	-
その他セグメント	20	0.2	58	0.5
合計	9,672	100.0	10,814	100.0

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

連結貸借対照表

当第3四半期連結会計期末における資産は17,145百万円(前期末比1,010百万円増)、負債は5,946百万円(同1,057百万円増)、純資産は11,198百万円(同46百万円減)となっております。

前連結会計年度末比での資産の増加の主な理由は、収益の拡大等による現金及び預金の増加及び、その他無形固定資産の増加などが挙げられます。

負債の増加の主な理由は、保険業法に基づく保険契約準備金の計上及び、収益の拡大等により未払法人税が増加したためであります。

純資産の減少の主な理由は、当第3四半期連結累計期間において自己株式を取得したためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

コンサルティング事業は、既存顧客への戦略コンサルティングやプロデュース支援に引き続き注力しつつ、海外事業展開を加速することで、前連結会計年度に対して15%程度の売上高成長率を見込んでおります。

インキュベーション事業の保険セグメントは、前連結会計年度に対して継続成長を見込んでおります。また、連結子会社であるアイペット損害保険株式会社に関しましては、上場に向けた準備を進めております。その他セグメントにおいて、アジア各国におけるマーケティングセグメントについては、引き続き事業拡大に伴う先行的費用が発生することを見込んでおります。

営業投資セグメントについては、株式会社レノバが1月20日に東証マザーズ市場へ上場承認されており、2月23日の上場を予定しております。同社も含めると、当連結会計年度における投資先のIPOは2社となります。また、当セグメントの売上高は株式の売却によってもたらされ、株式市況やIPO動向に伴い振幅します。そのため、通期業績の見通しは立てにくく、四半期毎に売上高が増減する状況が続くと考えております。

なお、営業投資セグメントを除くその他の各セグメントについては、当第3四半期連結会計期間末現在、概ね予定通り推移しております。

(4) 生産、受注及び販売の実績

①生産実績

当社は生産活動を行っておりませんので、該当事項はありません。

②受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績は次のとおりであります。

なお、営業投資セグメントにつきましては、受注という概念がございませんので記載しておりません。

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	前年同四半期比 (%)
	金額(百万円)	金額(百万円)	
コンサルティング事業	1,998	3,097	55.0
インキュベーション事業	7,095	7,425	4.6
(内訳)			
保険セグメント	5,905	7,366	24.7
アセットリクイデーションセグメント	418	-	-
知的財産権セグメント	751	-	-
その他セグメント	20	58	184.6
合計	9,094	10,523	15.7

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	
	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
コンサルティング事業	2,433	28.1
インキュベーション事業	8,381	7.8
(内訳)		
営業投資セグメント	956	38.9
保険セグメント	7,366	24.7
その他セグメント	58	184.6
合計	10,814	11.8

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

④投資実績

証券種類	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)				当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)			
	投資実行高		期末投資残高		投資実行高		期末投資残高	
	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)
株式・出資金等	1,843	10	4,673	39	631	11	4,883	44
新株予約権等	—	2	0	18	—	1	0	15
合計	1,843	12	4,673	48	631	12	4,883	53

- (注) 1 新株予約権等は、当社コンサルティングサービスの対価として発行会社から無償で取得している場合がありますが、上表においては、その際の金額をゼロとし会社数のみを記載しております。
- 2 株式、新株予約権等を重複して投資を行っている会社があります。
- 3 時価のあるものについては、取得原価を記載しております。
- 4 上表には余剰資金の運用目的の有価証券及び投資有価証券は含まれておりません。
- 5 当社グループは、未公開時点では投資をしていなかったPost-IP0企業の株式をIP0後に取得する場合がありますが、上表には当該投資金額及び会社数は含まれておりません。
- 6 期末において保有している新株予約権等を全て行使した場合の株式取得価額の総額は、以下のとおりであります。

前連結会計年度	当第3四半期連結会計期間
518百万円	370百万円

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,286	7,766
受取手形及び売掛金	1,985	1,935
営業投資有価証券	4,588	4,871
投資損失引当金	△20	△276
有価証券	21	-
たな卸資産	13	13
繰延税金資産	490	502
未収入金	46	32
その他	452	381
貸倒引当金	△5	△19
流動資産合計	14,858	15,208
固定資産		
有形固定資産	130	169
無形固定資産		
のれん	574	490
その他	99	436
無形固定資産合計	674	927
投資その他の資産		
投資有価証券	113	437
長期貸付金	133	132
その他	306	351
貸倒引当金	△83	△82
投資その他の資産合計	470	839
固定資産合計	1,275	1,936
資産合計	16,134	17,145

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	-	100
リース債務	1	1
未払金	429	345
保険契約準備金	3,640	4,135
支払備金	470	556
責任準備金	3,169	3,579
未払法人税等	22	379
繰延税金負債	-	5
賞与引当金	144	137
役員賞与引当金	10	0
その他	568	372
流動負債合計	4,817	5,476
固定負債		
長期借入金	-	350
リース債務	0	-
繰延税金負債	2	5
株式給付引当金	67	114
その他	0	0
固定負債合計	71	470
負債合計	4,889	5,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,884	4,913
資本剰余金	3,743	3,772
利益剰余金	2,310	2,441
自己株式	△495	△953
株主資本合計	10,443	10,173
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△174	△88
為替換算調整勘定	△74	△55
その他の包括利益累計額合計	△249	△144
新株予約権	99	82
非支配株主持分	951	1,086
純資産合計	11,245	11,198
負債純資産合計	16,134	17,145

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	9,672	10,814
売上原価	5,185	5,360
売上総利益	4,487	5,453
販売費及び一般管理費	4,127	4,765
営業利益	360	688
営業外収益		
受取利息	7	7
為替差益	12	18
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	4	19
営業外収益合計	25	46
営業外費用		
支払利息	1	3
敷金解約損	-	6
その他	0	2
営業外費用合計	1	12
経常利益	383	721
特別利益		
新株予約権戻入益	0	0
特別利益合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	383	722
法人税、住民税及び事業税	327	342
法人税等調整額	△307	△4
法人税等合計	20	337
四半期純利益	363	384
非支配株主に帰属する四半期純利益	230	131
親会社株主に帰属する四半期純利益	133	253

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	363	384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△425	90
為替換算調整勘定	△23	17
その他の包括利益合計	△448	107
四半期包括利益	△84	492
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△315	358
非支配株主に係る四半期包括利益	230	134

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月12日 取締役会	普通株式	291	29	平成27年3月31日	平成27年6月12日	利益剰余金

(注) 平成27年5月12日取締役会決議による配当金の総額には、信託が保有する自社の株式に対する配当金9百万円が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月10日 取締役会	普通株式	122	12	平成28年3月31日	平成28年6月14日	利益剰余金

(注) 平成28年5月10日取締役会決議による配当金の総額には、信託が保有する自社の株式に対する配当金3百万円が含まれております。

2. 株主資本の著しい変動

当社は、平成28年11月30日開催の取締役会決議に基づき、自己株式218,000株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が463百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が953百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注2)
	コンサルテ ィング セグメント	営業投資 セグメント	保険 セグメント	アセット リクイデー ション セグメント	知的財産権 セグメント	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,898	688	5,905	408	751	9,652	20	9,672	—	9,672
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,898	688	5,905	408	751	9,652	20	9,672	—	9,672
セグメント利益又は損失 (△)	992	△110	108	△80	385	1,294	△89	1,205	△845	360

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△845百万円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社での営業活動に係る費用及び一般管理費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注2)
	コンサル ティング セグメント	営業投資 セグメント	保険 セグメント	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,433	956	7,366	10,755	58	10,814	—	10,814
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,433	956	7,366	10,755	58	10,814	—	10,814
セグメント利益又は損失 (△)	1,414	△190	354	1,579	△36	1,542	△854	688

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△854百万円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社での営業活動に係る費用及び一般管理費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、「アセットリクイデーションセグメント」を構成しておりました株式会社リバリュアの全株式を前連結会計年度に売却し、「知的財産権セグメント」を構成しておりました日本知財ファンド1号投資事業有限責任組合は清算が結了いたしました。この結果、第1四半期連結会計期間より、当社グループの報告セグメントは、「コンサルティングセグメント」、「営業投資セグメント」及び「保険セグメント」となりました。